

令和7年8月29日(金) 令和7年度 第5号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校

— 大好きTAIHEI —

「知行合一」

校長 宮内 和典

39日間の長い夏休みを終え、2学期が始まりました。日焼けした顔、急に伸びた背丈、少し眠そうな、でも楽しそうに話す声、活気のある学校が戻ってきました。生徒たちが、夏休みから、気持ちを切り替え、生活リズムを整えて、学習や運動に精一杯頑張ることのできる健康な体を維持できるように、御家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。

さて、生徒の皆さんはどのような夏休みを過ごしたのでしょうか。夏休みが始まる前は39日も休みがあり、時間があって色々なことができるような気持ちだったと思いますが、実際に夏休みを終えてみると、どうでしょうか。終業式では、充実した夏休みにしてもらうために、意識してほしいこととして、「自律・自立・自主」の3つを上げました。学校がない分、多くの時間を自分の思いで過ごせる夏休みは、やるべきことを自分で調整できる。だからこそ、その責任も自分が負うことを忘れず過ごしてくださいと伝えました。泰平中の生徒の皆さんのことですから、目標に向かい計画的な毎日を過ごしたことと思います。私は、この夏休みに司馬遼太郎の「峠」というタイトルの本を読みました。この小説は、幕末の激動期に、時代を見据え、武装中立という立場を貫こうとしが、その理想はかなわず、越後長岡藩をひきいて新政府軍と戦った河井継之助の生涯を描いたものです。この小説を読み進めると、主人公の河井継之助の行動の背景には「陽明学」という学問があります。この「陽明学」は多くの幕末の偉人に影響を与えたと言われており、その教えの中に、「知ること」と「行うこと」が一体となったことを表す「知行合一(ちこうごういつ)」という言葉があります。「知っていても行わないのは、まだ知らないことと同じであり、知って行ってこそ、真の知識・知恵となる」という意味で「行動の伴わない知識は、未完成である」ということです。例えば、SNSで誹謗中傷をしてはいけないということは知っていますが、それでも、SNSで誹謗中傷をしてしまう人がいます。これは、誹謗中傷をしてはいけないということを知っているようで、行動が伴っていないので理解していないということになります。2学期も、皆さんの成長を促す授業があります。この授業で学んだことを、部活動や学校行事、さらには地域での活動や、外部での習い事などに活かし、「知行合一」の考えをもとに、学んだ知識をどのように活かし使うのかを考え、「実行」する力が身に付くように、自己研鑽に励みさらなる成長を楽しみにしています。

最後に、「陽明学」の影響を受けたとされる幕末の偉人は「吉田松陰、高杉晋作、西郷隆盛」などだそうです。この偉人たちは教科書にも出てくる人物です。人物史を読むことや学ぶことで、自分を省みるきっかけや、考え方や生き方の参考にしてもらえればと思います。

保護者の皆様へ

2学期がスタートしました。お子様の様子はいかがでしょうか。久しぶりの登校に不安を感じているお子様もいるかもしれません。進路、友人関係の悩みを抱えているお子様もいるかもしれません。生活習慣を整えるのに苦労しているお子様もいるかもしれません。このように、様々な原因で行動に移せない場合があります。もし、お子様が登校を渋るようことがありましたら、お子様の話を共感しつつよく聞いていただき、一緒に登校に向けて準備するなど安心感を与える御支援をお願いします。また、学校へも御相談ください。